

医療法人社団 音更宏明館病院



所在地：北海道河東郡音更町木野大通東17丁目1-6
 延床面積：6,231m²（本館）、4,937m²（別館）
 病床数：180
 構造・規模：RC造5階建
 建築工事：共立建設（株）
 改修完了：平成21年1月

内科、外科をはじめ7診療科目を擁し、一般病院として地域住民に密着した医療を展開。
 照明は高効率LEDダウンライト「E-CORE」とLED薄形ライン器具を設置し、
 省エネ、CO₂削減を図りつつ、効果的な演出照明を行っています。

LED照明により楽しめる空間演出を 図りながら地球温暖化防止に貢献

自然環境に恵まれた十勝の北部・音更町にある「音更宏明館病院」は平成20年8月に現病院名に改称され、「地域社会に信頼され、安心して質の高い医療サービスを提供できる病院づくり」を基本方針として、地域に密着した病院として親しまれています。診療科は内科、外科、循環器外科、婦人科、泌尿器科、リハビリテーション室、人工透析外科の7科目を擁し、1階に診療室、検査部門、手術室、2階～4階に病棟、5階にリハビリテーション室を配置した構成となっています。

照明には、温室効果ガス抑制への取り組みとして、1階の受付待合室と外来待合室、それに各科診察室に、省エネはもちろんCO₂も大幅に削減できるほか、長寿命によりランプ交換の手間も省ける高効率LEDダウンライト「E-CORE」を多用されています。

診察室にはE-CORE60調光形を採用し、 診療に最適なあかりをコントロール

受付・待合室は、建築化照明とした中央の折上天井の両側の下り天井部に、器具の存在感を感じさせないコンパクトなE-CORE60電球色相当（2800K）を等間隔にして設置。各診察室のドアわきにはLED薄形ライン器具電球色相当の連結配置として、たてのライン光による分かりやすいサインを演出しています。壁面には細かな四角の模様をデザインした透過壁材の内部に白色相当のLED薄形ライン器具を組み込み、面の光による模様表示が施されています。これにより、従来のような無機質な病院の待合室から脱却したホテルのロビーのようなアートチックな雰囲気をもたせ、患者が待つ時間の不安を和らげ、楽しめる空間として省エネのLEDで演出照明しています。

各診察室の照明は、E-CORE60白色相当（5000K）調光形を8台設置。ベッドに上向きになって診察を受ける時や、X線フィルムを観察するシャカステンの点灯時など、用途に応じた最適な0～100%までのきめ細かな深調光を可能にしています。また、各階の案内板には自在に照射角度が変更されるLEDユニバーサルダウンライト3灯タイプのシャープな光で分かりやすく表示しています。



総合待合室の照明 下り天井の両側にE-CORE60を、診察室のドアわきにはLEDライン器具を、壁には透過壁材内部にLEDライン器具を設置



診察待合室の天井にはE-CORE60を3台組にデザインして設置



会計窓口の照明 天井にE-CORE60、文字裏にはLEDライン器具で照明



案内板にはLEDユニバーサルダウンライトで照明



E-CORE60調光形を8台設置（調光100%時）



E-CORE60調光形30%調光時

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
室内	LEDダウンライトE-CORE40中角タイプ	LEDD-44003W-LS1	12	LED 消費電力：5.3W(白色相当)
	LEDダウンライトE-CORE40中角タイプ	LEDD-44004W-LS1	9	LED 消費電力：5.3W(白色相当)
	LEDダウンライトE-CORE60広角タイプ	LEDD-66001W-LS1	33	LED 消費電力：7.8W(白色相当)
	LEDダウンライトE-CORE60広角タイプ	LEDD-66007W-LD1	16	LED 消費電力：7.8W(白色相当)
	LEDダウンライトE-CORE100広角タイプ	LEDD-70001W-LS8	16	LED 消費電力：14.2W(白色相当)